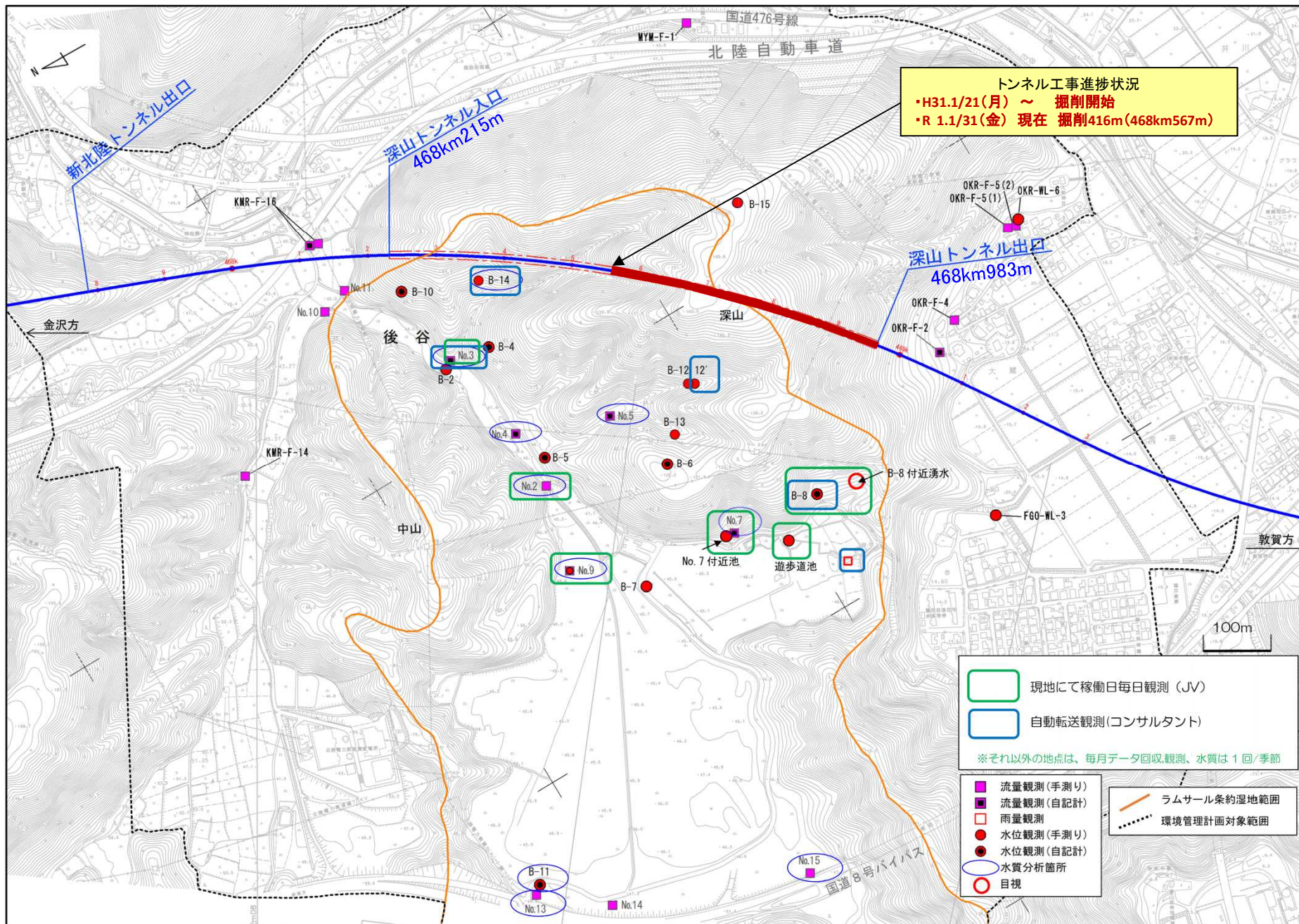


北陸新幹線、中池見湿地付近モニタリング結果

調査期間：令和2年1月1日（水）～令和2年1月31日（金）

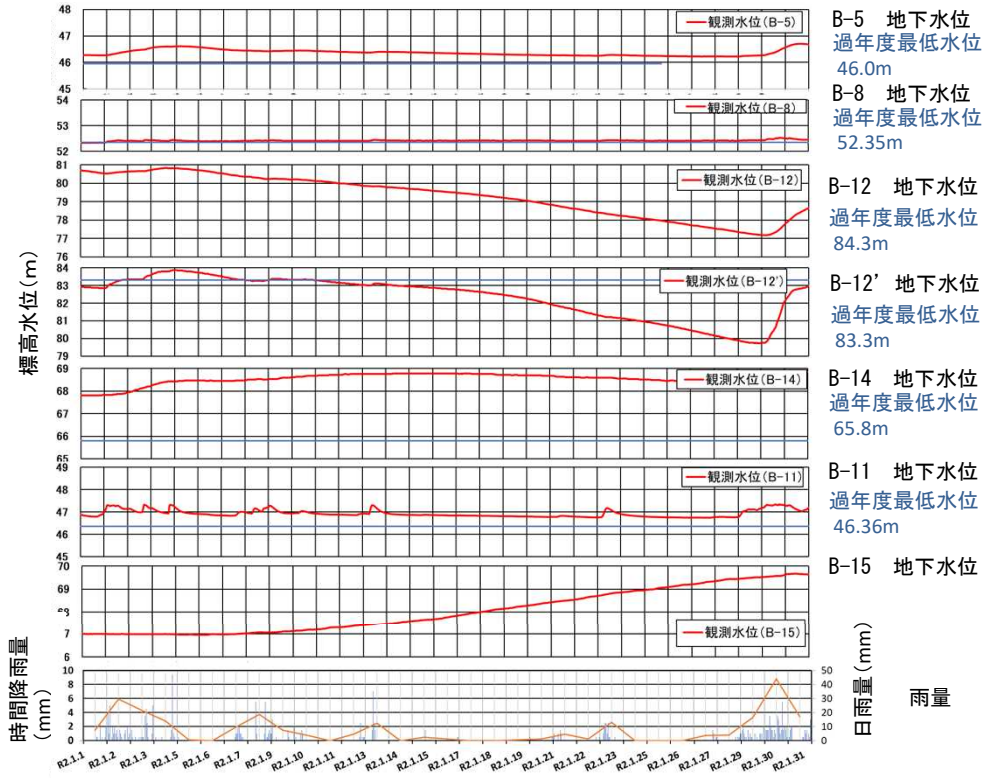
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



水文環境モニタリング観測地点図

※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図(自記記録)



B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-8 地下水位
過年度最低水位
52.35m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

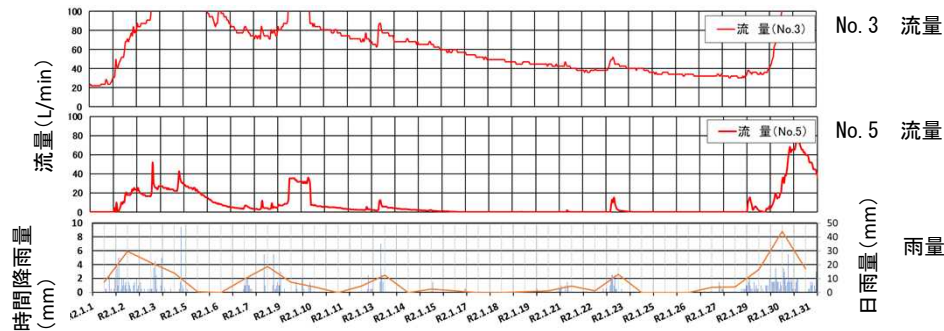
B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-11 地下水位
過年度最低水位
46.36m

B-15 地下水位

流量観測結果図(自記記録)



No. 3 流量

No. 5 流量

流量

全体総括

- 目立った変動なし □やや変動あり
- 変動あり(注意体制への移行を検討)
- 期間中の地下水位低下量
 - 1m未満ないし増加:B-12以外すべて
 - 2m未満 ■5m未満:B-12 □5m以上
- 期間中の流量低下量
 - 50ℓ/分未満ないし増加:No.3,No.4,No.5,No.7 □50ℓ/分以上
- 期間中のpH変動量
 - 0.5未満:B-8,B-12 □0.5以上 □1以上
- 日降水量
 - 15mm未満 ■15mm以上:6日 □50mm以上
- 月降水量
 - 80mm未満 □80mm以上 □130mm以上 ■200mm以上

概要

■水位変動について

- ①目立った変動なし。
- ②B-8(自動転送):大きな水位低下はみられないが、過年度最低水位とほぼ同じ水位。
- ③B-12(自記水位計):降雨により水位上昇がみられるも過年度最低値を上回らず、降雨後水位低下となり先月に引き続き過年度最低値を下回った(先月△3.6m⇒今月△2.1m)。
⇒今後も注視していく。なお、pHの値の変化はみられない。
- ④B-12'(自動転送):1/2～1/5の降雨により水位が上昇し一時的に過年度最低水位を上回るも、降雨後水位低下し、過年度最低水位を下回った(△0.4m) B-12に近接しているため同様な状況が推測される。今後も注視していく。
- ⑤B-15(自記水位計):本線を挟んで反対側に位置するB-12に比べ降雨の反応は少ない。本期間は継続的に上昇傾向である。比較的路線に近い観測地点でもあるので、今後も注視していく。
- ⑥No.5(自記):本月上旬や末頃の大雨には反応して流量が確認されたが、中旬から下旬は降雨が少ない時期が続き、上流域で湧水は確認されるも流量0となる状況が確認された。

■降水量について

- ・1月で日降水量の最大を記録した日は、1/30の44mmであった。
- ⇒12月の日最大降水量は34.5mmであり、やや多い降水量であった。
- ・1月の降水量は238mmである。
- ⇒12月の月降水量は222.5mmであり、やや多い降水量であった。